

## 「大学・地域共創プラットフォーム香川」との連携事業

### 「保護者のためのキャリアデザイン研修会」 (第3回県内大学・短大合同進学説明会) 開催

2025/11/22

11月22日(土)、かがわ短期大学において、「保護者のためのキャリアデザイン研修会(第3回県内大学・短大合同進学説明会)」を開催しました。一昨年度に開始した「大学・地域共創プラットフォーム香川」との連携事業で、生徒のキャリア形成や進路実現の支援、県内の各大学・短大の特色や入試制度に加え、今回は企業の信用調査会社の方をお招きして、県内企業の魅力についても紹介していただき、将来の職業選択から生涯にわたっての生き方まで、生徒のキャリアデザイン全般に関する研修会として実施しました。今年度は香川県PTA連絡協議会にご協力いただき、中学生の保護者の方にも参加していただきました。



第一部では、まず代々木ゼミナール大阪南校主幹研究員である山根正義様から、「保護者・生徒のためのキャリアガイダンス～未来を見据えた進路選択と大学入試～」と題して講演がありました。

まず、文系・理系の選択や見分け方について、一つのテーマに対して学べる学部はさまざまであること、大学入試のために重視する教科・科目についてなど、大学へのアプローチについてアドバイスをいただきました。続いて、今後は文理複眼的な視点が必要であることやそれに関係した新設学部の紹介や近年の主要大学の志願者動向などについて説明していただきました。保護者にとって気にかかる費用や大学生のアルバイト・奨学金の実態についても具体的な数字でお示しいただきました。

さらには、受験校決定までのロードマップとして、まず今までの自分をしっかりと振り返ることにより自分の興味が何であるかがわかる、総合型・学校推薦型・一般的の入試3区分それぞれについてのポイントやアドバイスをいただきました。まとめとして、大学理解の視点として、学びたい講座があるか、志望学部・学科のカリキュラムとその特色・どのような教授がいるかを知ることが重要で、そのためにもオープンキャンパスには必ず行ってほしいと熱く語っていただきました。

説明の途中で、香川県内の進学や就職に関する次のような留意点を指摘されました。

- ・県内大学等には、ほぼすべての学部が設置されているため大学時代の学びは県内ではほぼ完結する。
  - ・中国・四国地区の大卒者の就職率はV字回復している。
- 最後は、保護者向けに以下のようなガイダンスをしていただきました。
- ・大学選択に際して女子は将来の仕事や大学での授業内容を重視する傾向があるが、男子は合格できそうという理由が多い。



- ・大学選びのミスマッチを防ぐには高校1年次から時間をかけて考える必要がある。
- ・大学選びの際は、できれば親子でオープンキャンパスに行くべきである。

続いて、国内最大手の信用調査会社である(株)帝国データバンク高松支店長の道田祐一様から、「香川県ではたらく魅力」と題して、県内就職についての講演をしていただきました。香

川県は産業構造が全国とほぼ同様であり、さまざまな働き方ができることや、自県内での取引完結度が全国33位で中国・四国・九州地区では最も低く県外・海外との取引が多いため幅広い取引で成長のチャンスがあること、中小企業の中には今後大企業に成長する可能性があることや現在でも世界レベルの企業がたくさんあることなど産業界全般の特徴について紹介されました。その上で、生活に大きな影響を与えるのが都会と地方のどこで働くかであり、香川県は中央世帯の「可処分所得」－「基礎支出」が全国9位であるなど、経済的に豊かで自然災害も少なく、大型店舗も多いことなど日々の生活が便利で子育てもしやすいことなど暮らしやすい県であるとの説明がありました。我々があまり理解していなかった地元香川県の特徴も数多く紹介され、県内で就職した方の声も紹介していただき、あらためて魅力の多い働きがいのある県であることが理解できました。

第二部の「県内の大学・短大による進学説明・個別相談会」は、今年度は県内の8大学・短期大学がブースを設けて、前半ではそれぞれの学校の特色や設置学部・学科の教育内容、入試制度など多岐にわたる説明がありました。後半は、参加した保護者や生徒から個別の質疑応答を行う時間を持ちました。保護者・生徒のみなさんは、希望する大学・短大の説明会に参加し、その学校の教育内容などを具体的に知ることができ、地域内の高等教育機関を理解できる大変有意義な説明会になったと考えています。



最後になりましたが、今回の研修会実施に際して、ご多用の中素晴らしいご講演をしていただいた山根正義様・道田祐一様をはじめ、県内大学・短大関係者の皆様方、そして何より企画・運営に多大なご尽力をいただきました香川短期大学の勘原利幸先生と高松大学の土井理裕先生に心より御礼申し上げます。